八期歴史会往来第31号　　2019 年11 月1～11 月31日()

●歴史通信担当　大石よりみなさんへ。

今日は 10 月 31 日（木）です。
大変なニュースが飛び込んできました。
沖縄の首里城の消滅です。悲しいですね。八期の旅の最後の「遠出」の旅でした。
沖縄・八重山諸島を巡りました。その最後の訪問先が首里城でした。
あの可愛い見習いガイドの案内で首里城を回りました。今も目の前に浮かんできます。いずれ又必ず復元されることとは思いますが。
さて、島津義弘没 400 年シリーズはゆっくりペーすです。クマモト、西山両氏の語る戦国ばなしの方が詳しくて興味しんしんですね。
今回もやり取りから学ぶことが多いようです。あとは、ネットや本なども探すと面白いと思います。
最近、スマホの LINE の八期交信の方も参加メッセージが少なくなってきました。
まだまだあと 10 年は今と変わらずお付き合いしましょう。
　さて、11 月号の始まりは隈元くんから永吉南郷会の本田様に先月号の『八期歴史会』を転送してあげたいとのことで氏に差し上げたところ早速お返事が届いたそうで掲載します。
　『家久公の突然死について』と『義弘公の西軍参加のいきさつについて』本田様の私見を聞きたい…のお答えが得られました。参考に転載します。以下・・・

〇首里城の火災、惜しいことでした。
不注意による失火でしょう現場監督およびその上司がんでいたのでしょう。
このような気の弛みが蔓延し年寄りの腹を立てさせています。　　西山 和宏

〇今日は、ハロウィン ですね～関係無いけど

私が朝おきてビックリしたニュースは
ホテル　ﾆｭｰｼﾞｬﾊﾟﾝの火事　　阪神淡路の震災　　今朝の首里城の火事

家族旅行 で行ったあの城が　火に包まれ　焼け落ちるのを見るのも辛く 胸が痛くなり　今日は休憩中です 　　ウソです◈今日だけではありません 　　四国から帰ってから に　　毎日　昼寝して　早寝してます 眠り姫でもクッツイテ 来た見たい

○大石くん　　11月1日
　早速、本田さんから丁寧な返信がありました。
「家久への島津側からの毒殺説」について、伊敷歴史研究会では発表しきれなかった詳細な背景の解説もあり、大変な勉強をされていると思いました。なるほどと思わせる説得力があります。
　また、義弘の東軍から西軍への転身についても、的確に表現してもらったなと思い、表現の仕方の勉強にもなりました。いずれにしても、　本田さんの島津家に対する思い入れと、その研究への情熱には改めて頭が下がる思いです。　　クマモト　タツオ

○隈元　達雄　様
　　メールに、八期歴史往来30号も添付いただき」ありがとうございました。早速、拝見しました。
それにしても大石さんがこのように毎月纏められておられるのですね？！
スゴイ事です。びっくりしました！！
鶴丸同期会ではホーム・ページは小生らが帰郷後すぐに立ち上げて今も盛んに書いていますが、このように歴史好きな方々の「記録」などはありません。　また、それに、小生の発表した「家久の謎の死」などについても言及していただき、嬉しいやら、恥ずかしいやら、感激しました。
　島津家久の謎の死については、自分も前から勉強の課題とみて、今回の機会をとらえて、ド素人ながら思い切ってご批判ｊ覚悟で発表した次第です。
　自分は家久公などの永吉島津家の家来の末裔であり、家久を尊敬こそすれ、彼の今までの功績・戦績を何よりのスゴイと感じて、歴史を学んでいる男であります。
　帰郷後のニワカ勉強ですが、自分としては「歴史は必然性を帯びている」という信念を持っています。
世の中の事象は必ず、原因と結果があるのだという認識です。
島津家久の急死について、いろいろな歴史家・小説家が自説を披露しています。
その中でやはり、豊臣側と島津側や病死説などに大別されるでしょう。
それぞれの説に沿って、原因を探りながら検討しますと、病死説では今まで過去に環境の劣悪な場所で戦いに明け暮れた家久が、一夜の宴会の後の翌朝腹痛で急死ということは理解に苦しむところです。、
　赤痢やなどでも一夜にして死亡すること、40歳代の歴戦の男子では起こり難いと思えます。
　豊臣側からの毒殺説が定説になっているようですね？
これは、家久は計り知れない謀略を考える男であることで、豊臣方としては、家臣として今後使うのにも苦労する、むしろ消えてもらった方がよいとの判断があったとの説ですが、これは、秀吉がまだ存命であることで、秀吉の家久への評価はこれまでのように高いのであり、今後、豊臣大名として大きく貢献してくれるであろうという期待を持っているとも思われます。
そのことでワザワザ秀長を差し向けて「宴会」を開いているのですから、さらに、今急にまだ家久の行動も見届けないうちに、すぐに「死亡させる」必然性もあり得ません。
逆に、家久が素直に豊臣側に恭順したことで、島津家の分断が図れると豊臣側が思っていると見るのが妥当とも言えます。
　次に「島津側からの説」ですが、この説では、最近は東大の山本博文教授の「島津義弘の賭け」の文庫本の46頁以下に、「家久の出目や当時の情勢を考えれば、あり得ない話ではない」とも表現しています。　しかし、彼は最後に「病死だったかも知れない」と言っています。
山元泰生の「島津家久と島津豊久」（学陽書房出版）にははっきりと「島津説」と表現しています。
さらにその昔の歴史家達もこの説を早くから主張している人もいます。
　自分がどのような原因でが考えられると言えば、次のような結論を導き出しました。島津家は今まで幾多の戦いに明け暮れてきました。その都度、事を興すたびに、島津家の「教え」とも言えるべき、集団指導体制

（何事も管理者でよく相談しながら、それでも決着がつかない場合は籤を引くほどに、）を行動規範として堅持してきた実績があります。
ところが、今回は家久が他の３兄弟に連絡も相談もなく、いち早く勝手に豊臣側に恭順の意思を通告している状況にあったということです。
　これは兄達（義久・義弘・歳久）にとっては、根白坂の戦いに大敗して、意気消沈している立場である島津家にとって、今後の島津家の行末も定かでない時点での家久の単独判断は、いかに身近な、今まで島津家の一員として功績・戦績を挙げてきた弟にしては、やはり「早まった判断だとみなすのは妥当と思えます。
自分が管理者の義久・義弘の立場であっととしたら、やはり、このような結論になるには、至極当然の帰着と思えます。
　また、その家久が死亡した時点では豊臣方の歳久自害命令が出てはいなかったのですが、豊臣秀吉が泰平寺での帰途、薗牟田周辺で歳久が秀吉に弓矢を放ったことは義久・義弘も既に知っていたでしょう。
４兄弟の中で正反対の家久の行動は、島津家の崩壊につながると義久や義弘が判断する事はよく理解できます。　加えて、これは佐土原地区に伝わる伝聞ですが、家久の宴会の時、島津本家からの差し向けた台所当番の女中が二人、佐土原に派遣されていたとのことで、家久が急死した後で、佐土原の山中で女中二人の死骸が発見されたとの伝聞もあるようです。（この二人が毒を盛ったという事でしょう）

自分の結論としては、やはりレポートで表現しましたように、兄たちの心境としては、将来の島津家の再興のためには、ここは家久の今回の単独行動には泣いて馬謖の首を切る事になったのだと推量することになりました。
先ほど書きましたように、自分の地元の永吉島津家の始祖である何よりも大好きな島津家久ですが、この豊臣側への恭順の示し方は、自分が義久・義弘・歳久の立場であったらどう対処しただろうかと考えあぐねました。
　また、学生時代に４年間お世話になった元島津将学会（今は鹿児島県の公益財団法人鹿児島将学会となっています）の同学舎の関係で、今もその同学舎の会長であられる島津修久様から知古を得ている自分としては心苦しい率直な点もあるのですが、ここは敢えて、「家久の独断は間違っている」と断ぜざるを得ないと判断しました。
　なお、言いにくいことですが、地元鹿児島関係の歴史学者や学芸員などはこの島津毒殺説を主張する方は見掛けません。
なぜなら、やはり現在は、第 32 代ご当主に島津修久様の鹿児島県、市における「重鎮」であることで、「島津説」を唱えることにそれぞれのご自身の立場を守るためにも、単なる「病死説」や「豊臣側毒殺説」になっているというのは、穿った見方かも知れませんが、ありえないことではないと考えられます。

　次に、同じく記載がありました、島津義弘に関ヶ原合戦への件ですが、最初にまず、島津軍に陣営の兵力が少ない点ですが、
これは、御屋形様である義久があまり島津に関係に無い戦には、関心がなかったことにあります。
また、朝鮮の役や庄内の乱などで島津家内でも将兵が疲弊していたことも重なって、出陣した兵士は佐土原からの兵士を含めて 1500 人にもいたらない数と言われています。
　また、義弘は東西軍の間で、迷ったのか？という疑問です。
これは、当時の義弘の心境にその意図が見えていると思います。
　　義弘の考えでは、豊臣秀吉は若い頃から織田信長の草履番から仕えて、さらに努力を重ねて、最後は関白として天下を獲ることもできるほど、人並み外れた人材であると感じていたようです。その証拠に、島津家としては何の関係もない朝鮮戦役も自ら赴き、鬼島津とも言えるほどに朝鮮で活躍しています。

これも島津家のために豊臣の無謀な命令でも聞かざるを得ないほど、秀吉の勢力には従わざるを得なかったという「おそれ」があったでしょう。　　ところが、秀吉の弟や息子については義弘はどのように考えていたでしょうか？

秀吉が今や死亡したことで、彼の遺言通りに、一応この親族のために「五大老」制度を設けて徳川家康ほかの大名たちと努力する事で、当分は経過していましたが、おそらく義弘の展望は「次の天下は家康である」との認識をもっていたのだろうと推測できます。

なぜならば、家康は例の伏見城のことで、義弘に直接にその守護を依頼しています。

はっきり言えば、義弘は既に家康と昵懇になっていたということでしょうか？！

（勿論これは二人だけの「密約」であったのでしょう。　誰の家臣団も知らないことでしょう）

というのは会津の上杉謙信が徳川の意向を無視したことで、会津征伐に行っている間に、豊臣方の石田三成などへの警戒心から伏見城の留守番役を義弘に依頼していることは、島津家が徳川方に傾聴している事を家康が察知していると思われます。というのは、島津側にとっては、九州制覇に向けていた時、豊臣軍に大敗して後、義久らの努力で、豊臣秀吉から「三州へに安堵」がなされた事（義理があり）で、豊臣側への反対を明らかに宣言できない事情がありました。

さらに、当事、亀寿（義久の娘で、義弘の嫡子忠恒の室）や義弘の妻も大阪城に人質として派遣されていた事情もあり、その両方のことで義弘は東西どちらかに着くべきか悩んでいたと思うのです。

家康との約束でがあり、自分も「次代は家康」と思っていたのですが、伏見城に行ったら、家康の家臣の鳥居が義弘の入城を眼鏡に拒否したことで、義弘もやむなく、西軍入りとなったのでしょう。

ただ、関ケ原合戦の実践時には、義弘の率いる島津軍は小池の陣地を離れずに、再三の石田勢の東軍への攻撃要請にもかかわらずに、一切戦いは挑んでいないと言われています。

その後の、「島津の退き口」と言われている「敵中突破」のことですが、義弘軍は徳川方本陣前を無事通過している理由は、先の伏見城の一件や関ヶ原合戦での義弘軍動かなかった事を家康は知っていたことで、楽に徳川本陣前を通過できたのでしょう。

関ヶ原から追っかけてきた徳川軍の家臣団（井伊家、松平家、福島家、本多家など）は義弘が家康と実は内通していたことなど知る由もないことで、義弘を討ちに追ってきたのでしょう。

徳川方も、豊臣方も「次代の島津家は義弘である」とに認識は前から確立していたとみられます。

　　朝鮮戦役などでの義弘の縦横の活躍は、時代に島津家を担う男とみられていました。

徳川方の家臣団にとっては、今義弘を討てば、薩摩（薩摩・大隅・日向）の三州は自分達のモノになると計算があり、既に関ヶ原合戦は終わっているのに、義弘を追って来たわけがあると思いうのです。

この事は「島津の退き口の具体論論に発展しそうです。

そのような見解でもって、関ヶ原合戦の時は義弘は表向き西軍と見られていましたが、実際は関ケ原では全然戦っていないのです。

このことで、「島津に引け口」で義弘の甥子である島津豊久（当時佐土原城主）が死亡したことで、一時徳川から佐土原が召し上げられましたが、その後、義弘らが、関ヶ原では東軍に攻撃もいしなかったことで、佐土原は薩摩に返されて今度は垂水島津家から以久（もちひさ）が後島津ということで、改めて佐土原に赴むくことになったのです。

今では佐土原では島津家久・豊久を「前島津」、その後の垂水島津家から派遣された以久以降の方々を「後島津」と呼称しています。

義博の関ケ原参戦のことまで言及」しまして、スミマセン。

この「島津の退き口」については、伊敷歴史研究会からは来年２月の例会で発表してくれるように依頼されています。

今から資料つくりに掛かっていますが、よろしかったら是非、聴いていただきたいと思います。
　今後もよろしく願い上げます。
今日は磯、仙厳園の鶴嶺神社の秋例祭が開かれます。　　参列の予定です。
２０１９．１１，１、、　　本田　哲郎

〇大石です。今日は１１月２日。今日は秋晴れのいい天気です。桜島が活発なのが心配（降灰も）ですけど。
❸はまだ読んでいません。今夜の天文館は（おはら祭の前夜祭で）賑やかです。

〇 西山です。　　関ヶ原合戦図屏風（徳川美術館蔵）より徳川家康本隊を抜粋。
〇中央部に酒井家次の備を挟み、鉄砲隊・旗・槍隊・騎馬隊などで構成された徳川家康本陣備とそれを守る各武将の備が確認できる。関ケ原の頃には、すでに、銃器による戦いになり、その戦術は長篠の戦いに象徴されるように世界的にも進んだものになっていた。　　西山

〇関ケ原３送ります。大石
　今日は秋晴れのいい天気です。
桜島が活発なのが心配（降灰も）ですけど。
❸はまだ読んでいません。今夜の天文館は（おはら祭の前夜祭で）賑やかです。

〇こんにちはクマタツです。
昨日はパッとしない曇り空の一日でしたが、今日は秋晴れの真っ青な空が広がっています。
１１月というのにＴシャツ一枚で過ごす陽気です。
　我が家の１１月１日は、２日早い文化の日になりました。
妻が黎明館の関係者から「戦国島津」展と、市立美術館で開催中の「曽宮一念展」の招待券をいただいていたので、二つをハシゴしました。「戦国島津」展は先日大石くんたちと一回見学していましたが、再度訪れると、もう前回のことを忘れていたのか、新しい発見をすることができました。こういう展示会見学も体力との勝負だということを感じます。１，２回では全部を見て、記憶に残すのは難しくなったということをつくづく感じます。
もう一つの洋画家「曽宮一念展」は、「日本各地を旅して色彩豊かな風景が描いた洋画家です」という謳い文句どおりで素晴らしい洋画をたくさん見ました。特に桜島にも傾倒した画家のようで、油彩、水彩、素描、書、陶板など１００点を超える作品・資料が展示されていました。

　さて、本題の島津義弘、士風木強なり　です。
石田三成の西軍についた義弘に島津家本体の援護はなく、まるで孤軍奮闘の形になったのは何故か。
新聞の「島津義弘の兵力と援軍」の表にあるように、７月19日には、義弘の手勢は２００人しかいない。桐野作人「関ヶ原　島津退き口」によると、「ともあれ、義弘は西軍に加担した。しかし、義弘の置かれた状況はことのほ

か厳しかった。義弘は7月２４日、２９日と立てつづけに鹿児島の忠恒とその家老たちに3通の書状を送っているが、どれにも”手前無人”
”手前人数これなし”と書き連ねて、軍勢がいないことを嘆いている」　「義弘は西軍に加担することを決めた前後の7月14日から決戦直前の9月７日まで、残っているだけでじつに11通の軍勢催促状を国許に送っている。しかし、義久･忠恒は義弘の懇請をことごとく黙殺し、ついに最後まで組織的な動員はされなかった」とある。
最終的な西軍の人数１５００人に至るまでの経過や軍勢の内訳は新聞のとおりである。
　義弘が東軍から西軍へと変わり身をみせたことの謎については、前回、新聞でも諸説が紹介されたが、いまだ定まらない。
今回の義弘に対する島津本宗家の扱いも謎といえば謎だが、私は二つの要因があるのではと思う。
一つは義久･忠恒側：義久としては、将来のことも考えて中央の動きにできるだけ関与しないとした意向を持っていたこと。
忠恒は実の父親義弘の要請には応えたかったのかもしれないが、岳父義久の意向に逆らえなかったのではということか。
二つ目は、忠恒が伊集院幸侃を殺害し、その幸侃の息子･忠真が引き起こした「庄内の乱」の鎮圧に藩を挙げて取り組んだ結果、鎮圧はなったものの、藩の疲弊も甚だしく、義弘の要請に応えられなかったという説である。
いずれにしてもこの二つの要因が絡んでそのような結果になったのだと思うがどうだろう。

○隈元様　西山様　大石様
　いつも配信感謝です。
　島津藩が中央まで行って戦う・・・大きな負担だったことでしょう。
朝鮮出兵で大きな負担を経験していることを思えば
ま　あんまり関わらず　済んでしまえばこれにこしたことはない。でしょう。＾＾
　後年の島原の乱でも　島津遠征軍の動きに目立ったものは無いようです。
島津が陣を置いたところも　原城攻撃の重要地点ではないようです。
　利益が期待されないところに　あまり関わらない・・・でしょうかね？　　長崎　諫早　　森永

○クマタツですこんにちは！
あの天草の乱の原城跡は訪ねてみたいと思いながら未だに到達し得ない史跡の一つです。
自分の頭の中では、いろいろな映像で見た「原城跡」の様子が去来しています。
その昔、車で鹿児島の長島から天草の牛深にフェリーで渡り、崎津教会を皮切りに天草の教会を次々に巡ったのを思い出します。
そのあと、島原城なども行きました。
しかし、その頃は、原城跡のことは頭の片隅にもなくて、見落としてしまいました。いつか行ければと思っています。
ネット調べると、九州の他藩の参加人数は多いところで、万人という数字の中で、薩摩藩はわずか１０００人の参戦みたいです。
どういう事情だったかわかりませんが、森永さんがおっしゃるように、かかわらずにいいものにはあまり深入りしないというかんがえでもあったのでしょう。

○お二方のお見立て通り、他所事であって大変ですね、と私も来ましたよということでしょう。
西山 和宏　　11月4日

11月５日クマタツです。　ブログを更新しました。

「島津義弘没後４００年」をブログにどういう形で書こうかと思っていましたが、とりあえず「義弘を取り巻く人」で書こうと思って、一回目として義弘の祖父・島津忠良（日新公）を書いてみました。ひまをみて貴久・・・という順番に書いていく予定です。忌憚のない意見をお願いします。ブログのコメント欄への書き込みも歓迎です。偽名でいですよ。私にわかるようなものであれば嬉しいです。

　ブログは　「クマタツ１８４７」　です。

〇オオイシです。

今覗いて見ました。

どれも充実した内容で読みごたえがあります。

薩摩歴史の初心者はもちろん（かじり派）にも応えられる内容です。

今僕はHP刷新のため辛亥革命の（黄興）の1909年南洲墓地訪問の詳細など滔天の資料に熱中しています。

ひょんなことから初代忠久のことを書いている朝河貫一氏（入来文書）の本をかじったりいろいろです。

昼は木村さんと南郷くんの訪問を受け昼食を一緒にしました。

〇早速の返信ありがとうございます。

忙しいなかで読んでもらって恐縮です。

いえいえ　なかなか気合が入りません。

日中友好協会のホームページ刷新という大事業ご苦労様です。

特に、そういう公式なものは、気が抜けないから大変でしょう。

新しいことを勉強したり、確認したり楽しさ、苦しさ入り混じって大変でしょうががんばってください。

クマモト　タツオ

〇新聞切り抜き－関ケ原④影武者登場。　西山より

士風木強なり
関ケ原敵中突破
影武者
長寿院、豊久討ち死に

敵中突破による撤退は、後々、薩摩の大きな資産になりました。

薩摩は　いざとなれば　死を恐れずに　ことに当たる勇敢だという事実と語り草を残してくれました。

日本人は、死を恐れないという評判は第２次大戦の日本軍、わけても特攻隊が残してくれました。

思い切って行うことを「バンザイ」「ハラキリ」という表現は1980年代ころまで、米国で見られました。

中国の上海では、敗戦で立ち退いた旧日本人の住居への入居を促しても、日本兵が戻ってきたら大変なことになると恐れて入居をためらったそうです。

そこでやむなく共産党員を強制的に入居させたそうです。負け戦ながら関が原も第２次大戦も、我々は少なからず恩恵を受けているのかもしれません。その勇敢さに、声をひそめて静かに感謝しています。

西山 和宏

〇クマタツです。最近の鹿児島の朝晩は冷え込むようになりました。

。しかし、昼間はちょうどいい陽気です。

いつも思うのですが、鹿児島は秋と春がちょっとしかありませね。昨日までの半袖が今日は長袖にベストまで要るようになったり。秋晴れの中、昨日も、グラウンドゴルフの定例日でした。４ゲームやって、４ゲームとも一個のホールインワンが出ました。
１０年以上やっているといろいろな新記録や珍記録が出ますが、こうゆう記録は初めてでした。グラウンドゴルフをやっている人ならわかると思いますが、珍記録の割には点数は悪く６９点でした。４つ出したらせめて６０点代の少ない数字でなくてはいけません。

本題です。大石くん　メールいつもありがとう。
今日の記事には、島津豊久、長寿院盛淳、山田有栄（ありなが）、柏木源藤（げんとう）、井上主膳、帖佐宗辰など薩摩のボッケモンが登場する。　その中から、2，3の人物を取り上げる。

島津豊久・・・義弘の甥。四兄弟の末弟・家久の子息。永吉島津家2代当主。
島津義弘が西軍に加担し、東軍との戦いに備え、兵力の補給を本国に依頼するが、本国の義久は徳川家康と親しいことや、天下の様子見を決め込んでいたりで、援軍を出さなかったのは、前回の③にもあるとおりである。
そいう中で、島津豊久は参勤のために、京都に居たこともあって、佐土原からの援軍も含め数百人？　の軍勢を用意した。これは義弘とともに朝鮮の役でたたかったことなどで、義弘を敬慕したためであろうか。
それと、この関ヶ原の戦いより前、島津氏は豊臣政権に九州制覇の夢を阻止されたが、豊久は島津家の敗北にもかかわらず、秀吉から今は亡き父・家久がいち早く降伏していたことから、家久の旧領・佐土原だけでなく周辺の都於郡、三納、穂北、富田を安堵された。そのため、豊臣方に恩義を感じてもいたのだろう。
そいう中で戦われた関ヶ原であったが、西軍が敗北すると、義弘は敵陣を中央突破して、薩摩へ帰還しようとする。逃亡する際、豊久は義弘を逃すために踏みとどまり、追撃してくる東軍と戦い弱冠３０歳で戦死した。

長寿院盛淳・・・義弘の長兄・義久の家老から、後に義弘の家老となる。
盛淳（せいじゅん）は当初僧籍に入り高野山や根来寺で修行したが、安養院住持となって鹿児島に戻ると、義久に命じられ還俗し奏者になる。蒲生地頭を務める。天正14年（1586）豊臣秀吉への使者を務めた。天正15年頃には義久の家老となり、秀吉の懐刀・石田三成と連絡をとりながら豊臣政権下の大名・島津家を安定させるべく構造改革に取り組んだがあくまでも穏健派であった。
のち義弘の家老になったが、文禄2年（1593）には朝鮮出役の義弘から留守中の仕置について細かく指示を受けている。
６日記事③にもあるように関ヶ原の戦いには７０人あまりの兵を率いて義弘のもとに馳せ参じた。義弘が感激して「長寿か。一番目に到着するのはその方だと思っていた」手を取って陣に引いれるくらいの喜び方だったという。お互いに信頼関係が強かったことが伺われる。それだけの関係だったので、「島津退き口」のとき、追い詰められた義弘を逃すために敵の面前に立ちはだかり義弘の身代わりとなって「義弘の死に狂いなり」と義弘の名を名乗り、大勢の鑓を突き立てられて討ち死にしたという。
　おっとと、今日は二人のボッケモンのことを書く中で、おそらく次回記事で紹介されるようなことまで踏み込んでしまったので、この辺で。

○ボッケモンには、大胆さに加えて、ひょうげた　ところがあったと思います。
ボッケモンは、薩摩の人は冗談が好きユーモアがあると言われています。 西山 和宏

○関ケ原⑤送付
○「鶴翼の陣」は、家康が、三方ヶ原で、武田軍に無謀とも思われる戦いを挑んだにときにとった戦法で、

この戦いで信長の信頼を得たものとして有名。「鶴翼の陣」と言えば、何か恰好がいいのでしょう。
また、ローマ軍も多用した陣形である。
井上教授が述べる現在の関ヶ原合戦のイメージは、司馬遼太郎の「関ケ原」によって決定づけられた。
義弘の敵中突破は関ケ原においてもっとも悲愴でもっとも滑稽な事態として登場する。
私は、司馬遼太郎の愛読者であるが彼は、現代の講談師であったかもしれない。西山 和宏

○１１月９日合戦の真相究明進む」今日の⑤の記事を一気に読み終わり、目からウロコという感じもしたが、正直なところ驚きも大きい。
これまでの私の教科書にはないことが、書かれていたからだ。
改めて持っている資料を全て目を通してみたが、別府大学の白峰旬教授や歴史研究者の高橋陽介氏のような記述や関ヶ原の戦いに於ける東軍・西軍の布陣図を示すようなものの持ち合わせはなかった。
　ネットでも両氏の書籍など調べてみた。不勉強で知らなかったが、両氏とも書籍がある。両氏の主張は「一次史料」を中心とすることである。当然のことだと思うが、防衛大学の井上泰至教授がいう「一般的な歴史認識は、わかりやすい物語のイメージからつくられる」ということになれば、一次史料から縁遠く、また不勉強な私は何を読んできたものは何だったのだろう。前記、白峰・高橋両氏も布陣図などでは見解が一致しているようだが、高橋氏の「一次史料にみる関ヶ原の戦い」（改訂版）に対しては白峰氏が「おおむね史料の誤読と曲解があり・・・」とも言っているそうだ。（amazon の書評にあった）全面的には信用できないということだろう。
　しかし、⑤の記事にもあるように、「軍記物」「物語」に満ち溢れた？　これまでの歴史を一次史料の発掘・読解によって、歴史的事実を発掘し始めた研究者が出てきている。これらのことを注視しながら、広い視野からこれまでの通説も見直す時期が来るのかもしれない。そういうことは、今回のこのシリーズの中でもいくつか見てきたが、これからも研究者の動向を見ていこうと思う。
今日はショックな記事を読んで、ショックを受けた日だった。　　クマモト　タツオ

○古代ヨーロッパでの海戦では見下ろせる高い場所から、戦後の論功行賞のために記録をとったと言われています。
司馬遼太郎は、坂の上の雲で、日本の戦史は信用できない。
戦史編纂室に入れ替わり立ち代わりやって自分の手柄話を入れてくれと要求するために真実が書かれていない。信用できるのは布陣だけだと書いています。
関ケ原、一次資料であれ、スポンサーの意向に沿った最も古い著作物だということでしょう。
私は、戦国物、時代物は、忠臣蔵などと同じように楽しむことにしています。

○返事が遅くなりました。
この数日人物往来（ネット上も含め）賑やかです。八期も遠近男女混ぜて活発です。テレビ観戦も相撲野球ゴルフ・　。読書も溜まってます。ありがたくもない祝年誕生日も近づいています。協会 HP のリニューアルを考えています。そろそろ次の管理人に譲るため簡単な様式に替えようと思っています。
ところで好きな音楽を iPhone、iPod、ウォークマンそんな類のデバイスを利用して聴いていますか？名古屋の稲森くんから SD カード（何百曲かの）が送って来たので、でも音楽は好みがありますからね。
iPhone から送信

○忙しくないはずですが
あれやこれやで時間の余裕がありません今、パソコンの前に座ったところです、

相撲もこれはという力士がいないことも時間がなくて、ほとんど観ていません。
iPhone、iPod、ウォークマンも持っていません。
その昔、ウェスタンバンドを喫茶店で聞きにいきました。
明日は、久しぶりというかちょうど１年ぶりに、緩々猿来隊として之内望彦、東川敏治、大山寛らと横浜で落ち合って、船巡りをします。西山 和宏

○　１１月１３日　関ケ原⑥今回は大阪城にいる人質（夫人達の話）
「豊久の最後を描くのか？」作家の関心次第。予想では「ナシ」でしょうか。
今日の鹿児島は快晴（秋晴れ）。

○いやはや　戦は昔も今もきついもの以前、美術館は長田中学と書きましたが、
私が小学校低学年のとき従兄を訪ねていったときは３中でした。長田の校章に３中とあります。
話は、変わりますが今日、ＣＣの３人と横浜で日本丸、氷川丸、北朝鮮工作の見学に１１時から午後５時まで健脚を緩々猿来ました。

○義弘にとっては息子・忠恒（のちの家久）の嫁で、しかもそれが守護・義久の娘・亀寿であれば、それを救い出して薩摩に連れ帰ることは、記事にもあるように忠恒に島津家の家督を継がせる絶対条件だったと思われる。この問題は義弘が東軍から西軍に転身したことを論じたときも書いたが、亀寿をはじめ、大阪城に人質となっていた島津一族の子女を救出するための大きな要因の一つだったのだろうと改めて思うことだ。
クマモト　タツオ

○ご無沙汰です。（ような気がします）
このところ、政治が面白くて？　、テレビとネットでいろいろ見ているので、他のことがおろそかになっているのが実情です。
　今日の「義久は家久の死に関わっていたのか？」は島津家のたくさんの謎の中でも前からいろいろな説があり、大きな謎だと思います。本田氏も大きな説を発表しましたからね。
大石くんの文章の中の「小説」の部分が肝だと思います。なるほど女性を派遣して毒を盛らせた？　それもありでしょう。
上井覚兼に密命を帯びて・・・。いいなあ。
　今晩は浜崎会長から電話があって玉龍同窓会の幹事会に行くことになりました。寒くなったし、ふゆっごろの私は行きたくないのですが森くんもダメだということで無下に断ることもできません。

○11月14日　　関ケ原⑦今日は２つのエピソード。信楽への山道と道与。
執筆者はよくマイナー（知る人ぞ知るというべきか」」な人物を見つけてきますね　　おおいし

○負け戦の落人ほど悲惨なものはないでしょう
今回の話を読みながら先の敗戦で外地からの引き揚げに際し遭遇した恐怖や苦労、飢えと寒さを思い出した人もいたことでしょう。
我々はそれを語ることができる最後の世代です。　　西山

○⑦の今日は、 義弘一行の「山の退き口」が、追われる恐怖に震えるような中で身につけるもの、食料調達などいかに大変だったかということがそのルートとともに紹介されている。
　その地図の中に「義弘の動き」と「通説のルート」と、途中の信楽までの二つの←がある。

この「山の退き口」については、桐野作人説を相当有力とみて取り上げているように思う。桐野作人著「関ヶ原　島津の退き口」ー敵中突破３００里ー　によると、「通説のルート」は、山本博文氏（「島津義弘の賭け」の著者）の説にも一部（私が「島津義弘の賭け」のＰ２８９を見る限りでは、「通説のルート」の関ヶ原～水口～関地蔵までは桐野説とは違う。あとは「義弘の動き」ルートと同じ）あるが、桐野作人氏は山本博文氏について「同氏の島津氏研究には少なからぬ学恩を蒙っているが、退き口に関してはいただけない」としている。そして、桐野作人氏は、従軍兵士のさまざまな手記などを基に、諸説などの時間の適合性なども検討しながら「義弘の動き」ルートを引き出しているように思える。　　クマタツ

○11 月 16 日　「川路大警視、再評価の動き」の新聞記事に対して西山くんの感想です。

第3種郵便物認可

川路大警視 再評価の動き

″裏切り者″→優れた官僚、文人

皆与志出身「日本警察の父」

「日本警察の父」と呼ばれる旧薩摩藩士の川路利良（1834～79年）を再評価する動きが広がっている。専門家は近代警察の礎を築いた有能な官僚、遺された漢詩から優れた文人とたたえる。東京五輪や鹿児島県体を控えて治安対策が注目される中、子孫や警察ＯＢらは啓発活動を活発化。いまひとつだった知名度も浸透しつつある。

川路利良

鹿児島市皆与志町出身の川路は維新で、欧州の警察制度を視察。警視庁を創設し、警視総監に当たる初代大警視に就いた。警備に尽力した交番制度は海外にも普及している。一方、西南戦争で抜刀隊を率い西郷隆盛軍と敵対し、「郷土の英雄に弓を引いた裏切り者」との悪評も根強い。

これに異を唱えるのは県立図書館長の原口泉さんだ。川路の命日だった10月13日、「世界の中の日本の警察～皆与志から世界へ～」と題し、同町で住民らに講演。「大久保利通に劣らない有能な内務官僚」と位置付け、「国家行政の活動は一日として休むわけにいかない」との信念に従い、鹿児島の偉人への私情を捨て難に尽くした鹿児島の偉人と強調した。

鹿児島大名誉教授の松尾善弘さんは文人として評価。西郷や同志への思いを通じ望郷の念をつづった漢詩に素養の高さが表れているとし、「西郷に勝るとも劣らない武人で、才能豊かな文人でもあった」と語る。NHK・BSで今夏、征韓論に敗れ下野する西郷との決別に至る川路の苦悩を描いた歴史ドキュメンタリーも放送された。

6代目直系子孫の川路利朝さん（42）＝東京＝が再評価の旗振り役を務める「西郷人気の根強い鹿児島の地は認めない」と代々言い伝えられてきたが、鹿児島を初めて訪れた昨年以降、各地の催しに顔を出してきた。川路を長年顕彰してきた地元住民らも頼いるため「川路の存在を通じ、皆与志の発展につながれば」と話す。

利朝さんが誇りにするのは、県出身者の多い警視庁や鹿児島県警のOB、現役職員だ。年齢、東京・青山霊園の墓や生誕地の石碑を進んで案内してくれるという。「親愛を重んじる警察ならではと感謝する。

再評価の動きは地元でも好意的に受けとめられている。命日にあった顕彰式に住民代表として出席した徳田兼利さん（65）は、西南戦争に際し、鹿児島が政府軍にいたとして疑われた先祖を救われた。「わが家も再評価されているようでありがたい。顕彰活動を長く続け、地域活性化につなげたい」と話した。

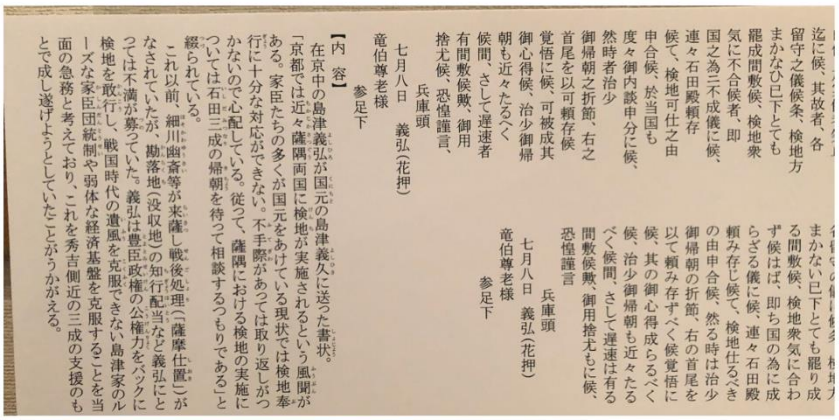
（高田浩志）

川路利良記念祭で、川路を顕彰する石碑前であいさつする直系子孫の川路利朝さん＝10月、鹿児島市皆与志町

日本の警察が世界に誇る「ＫＯＢＡＮ」、そのオリジンは、川路利良が外遊先パリで道に迷ったとき親切にしてくれたのが、パリの交番であった。川路は、これは市民にとって親切なもの、近代国家に相応しい良いものだと、交番の設置に努めた。
警視庁の歴史で最大の事件、ランキング１位は「西南戦争」とされているように、これへの従軍によって警視庁は存在を大なるものにした。
明治７年に設置された警視庁は、明治 10 年１月 11 日、内務省直轄の東京警視本署に組織の改編を行い、小銃 7000 を陸軍省から借用し、陸軍士官の派遣を要請し軍事訓練を受けた。明治 10 年３月、警視隊抜刀隊 9500 人を編成して、を西南戦争に従軍させた。

川路利良は、「大久保利通に劣らない有能な内務官僚」、「西郷に勝るとも劣らない武人で、才能豊かな文人でもあった」とすれば、川路は、西郷と大久保を越える維新の功労者ということになる。

「間違いだらけの〇〇の常識」のように、従来の常識や認識に異論を唱えて偉ぶっているのは軽薄にすぎないだろうか？
〇皆さん昨日はありがとうございました。運転の森くん、西くんお疲れ様でした。
おかげで楽しい、有意義な一日を過ごすことができました。
大石くん
いい写真をありがとうございます。
永野さん
　　鹿児島五社（上町五社）詣での順路は、南方神社⇒八坂神社⇒稲荷神社⇒春日神社⇒若宮神社　でした。できれば順路通りお参りしたほうが霊験新たかかもしれませんよ。
クマモト　タツオ



迄に候、其故者、各留守之儀候条、検地方まかなひ已下とても罷成間敷候、検地衆気に不合候者、即国之為二不成儀に候、連々石田殿頼存候て、検地可仕之由申合候、於当国も度々御内談申分に候、然時者治少御帰朝之折節、右之首尾を以可頼存候覚悟に候、可被成其御心得候、治少御帰朝も近々たるべく候間、さして遅速は有る間敷候歟、御用捨尤もに候、恐惶謹言、

兵庫頭

七月八日　義弘（花押）

竜伯尊老様

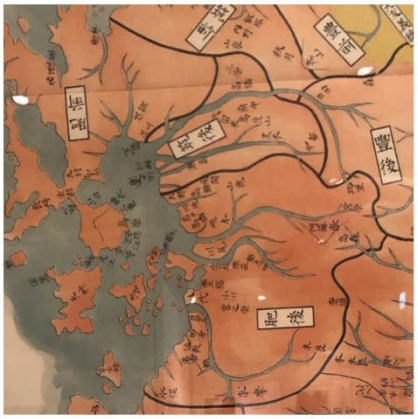
参足下

【内　容】

在京中の島津義弘が国元の島津義久に送った書状。

「京都では近々薩隅両国に検地が実施されるという風聞がある。家臣たちの多くが国元をあけている現状では検地奉行に十分な対応ができない。不手際があっては取り返しがつかないので心配している。従って、薩隅における検地の実施については石田三成の帰朝を待って相談するつもりである」と綴られている。

これ以前、細川幽斎等が来薩し戦後処理（「薩摩仕置」）がなされていたが、勘落地（没収地）の知行配当など義弘にとっては不満が募っていた。義弘は豊臣政権の公権力をバックに検地を敢行し、戦国時代の遺風を克服できない島津家のルーズな家臣団統制や弱体な経済基盤を克服することを当面の急務と考えており、これを秀吉側近の三成の支援のもとで成し遂げようとしていたことがうかがえる。



日本新聞　2019年（令和元年）11月16日　土曜日　社会　28

「島津家墓所」国史跡に

文化審答申

鹿児島、さつまなど4市1町

国の文化審議会は15日、江戸時代の大規模な大名墓地「鹿児島島津家墓所」（鹿児島市）など4市1町の7カ所を史跡に指定し、肝付町の史跡「塚崎古墳」を国宝に指定する答申通り告示され、県内の史跡は30件となる。

このほか全国では、特別史跡1件、史跡・名勝・天然記念物18件、登録記念物5件が新たに答申された。

鹿児島島津家墓所は、鹿児島藩主の島津宗家（鹿児島市）や加治木島津家（姶良市）、宮之城島津家（さつま町）など6家7カ所で構成し、面積は合計約

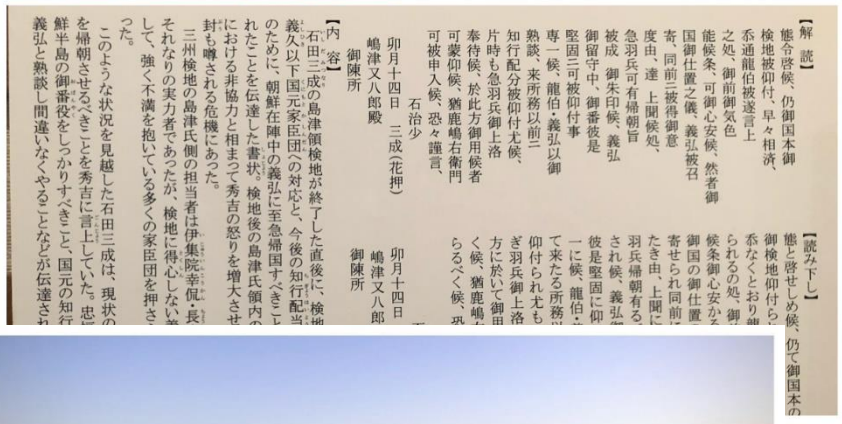
鹿児島島津家墓所
❶島津宗家
❷越前（重富）家
❸加治木家（龍仁寺）
❹加治木家（長年寺）
❺垂水家
❻今和泉家
❼宮之城家

墓の石材や形態により、宗家を頂点にした階層構造を示しているのが特徴。宗家の墓が主に、山川石を使った大型の宝篋印塔であるのに対し、4一門家では山川石を用いない。墓碑も五輪塔や石廟など宗家と異なる形態を採用するなど、各墓所の独自性もみられる。

塚崎古墳群は、古墳時代前期から中期にかけて構成し、面積は合計約

威厳や風格を備えていると評価された。

▶❶黄色みを帯びた山川石の宝篋印塔が並ぶ島津宗家墓所＝鹿児島市池之上町 ❷墓石を石廟で覆う特徴がある宮之城島津家墓所＝さつま町虎居



【解　読】

態令啓候、仍御国本御検地被仰付、早々相済、忝通龍伯被遂言上之処、御前御気色能候条、可御心安候、然者御国御仕置之儀、義弘被召寄、同前二被得御意度由、達上聞候処、急羽兵可有帰朝旨被成御朱印候、義弘御留守中、御番彼是堅固二可被仰付事専一候、龍伯・義弘以御熟談、来所務以前二知行配分被仰付尤候、片時も急羽兵御上洛奉待候、於此方御用候者可蒙仰候、猶鹿嶋右衛門可被申入候、恐々謹言、

石治少

卯月十四日　三成（花押）

嶋津又八郎殿

御陳所

【内　容】

石田三成の島津領検地が終了した直後に、検地の義久以下国元家臣団への対応と、今後の知行配当のために、朝鮮在陣中の義弘に至急帰国すべきことを伝達した書状。検地後の島津氏領内における非協力と相まって秀吉の怒りを増大させ封も噂される危機にあった。

三州検地の島津氏側の担当者は伊集院幸侃・長それなりの実力者であったが、検地に得心しない強く不満を抱いている多くの家臣団を押さつた。

このような状況を見越した石田三成は、現状を帰朝させるべきことを秀吉に言上していた。忠鮮半島の御番役をしっかりすべきこと、国元の知行義弘と熟談し間違いなくやることなどが伝達され

【読み下し】

態と啓せしめ候、仍て御国本の御検地仰付られ、早々相済、忝なくとおり御前御気色能候条御心安かるべく候、然者御国の御仕置の儀、義弘被召寄せられ同前に被得御意たき由、上聞候処、急羽兵帰朝有るべきされ候、義弘御朱印彼是堅固に仰付られ候、龍伯・義弘一に候、龍伯・義弘以御て来たる所務以前二熟談、来所務以前二知行配分被仰付尤候、片時もぎ羽兵御上洛奉待候、於此方に於て御用候者、可蒙仰候、猶鹿嶋右衛門らるべく候、恐々謹言、

26日（一昨日）歴史仲間5名でテレビでお馴染みの山本博文氏の歴史講演会『島津義弘と関ヶ原』を聴きに姶良市公民館に行って来ました。

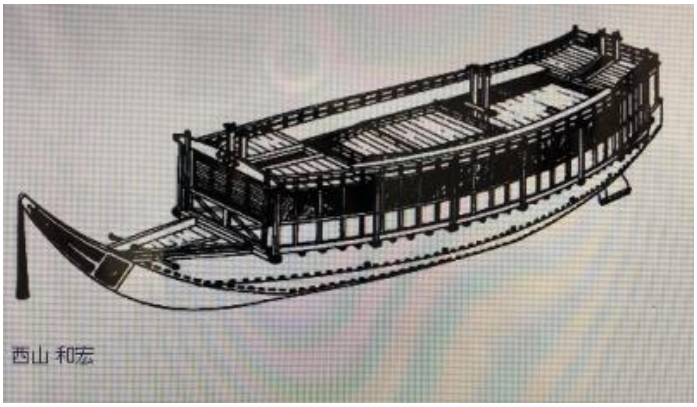
この頃（400年前）義弘は姶良（帖佐）のこの地に兄の義久は加治木や国分に城を構えていました。

　二人が眺めた桜島はこのような容でした。僕たちがいつも市内から、城山から眺める上の平坦な桜島とは違ったのだ！とこの時改めて思うことでした。

ちなみに当時は桜島を向島と呼んでいました。

　いうまでもなくこの辺りは大隅国になります。

〇老いても、興味は尽きないもののようです。落ち武者ほど辛い旅はないと思っていたら船で落ちたとは、想像もしていなかった。 関船（せきぶね）という用語も初めてめにするのでウイキペディアで見ると、戦国時代にあった中型の軍用船で、大型の安宅船よりも小さいが小回りがきき速かったとう。そのような船をどのようにして、調達したのでしょうか？



西山 和宏

〇　11 月 12 日返事が遅くなりました。この数日人物往来（ネット上も含め）賑やかです。八期も遠近男女混ぜて活発です。テレビ観戦も相撲野球ゴルフ・・。読書も溜まってます。ありがたくもない祝年誕生日も近づいています。協会 HP のリニューアルを考えています。そろそろ次の管理人に譲るため簡単な様式に替えようと思っています。
ところで好きな音楽を iPhone、iPod、ウォークマンそんな類のデバイスを利用して聴いていますか？名古屋の稲森くんから SD カード（何百曲かの）が送って来たので、でも音楽は好みがありますからね。iPhone から送信

〇忙しくないはずですがれやこれやで時間の余裕がありません
今、パソコンの前に座ったところです、
相撲もこれはという力士がいないことも時間がなくて、ほとんど観ていません。
iPhone、iPod、ウォークマンも持っていません。
その昔、ウェスタンバンドを喫茶店で聞きにいきました。
明日は、久しぶりというかちょうど１年ぶりに、緩々猿来隊として竹之内望彦、東川敏治、大山寛らと横浜で落ち合って、船巡りをします。西山 和宏
〇大石様（八期外の友人から･･･）
いつも有難うございます。
11 月初旬にお客様のお誘いを受けて、1 週間程ベトナムに行ってきました。
中国と同様、街並も近代化しており、私見の想像をはるかに超えた次第です。
やはり、百聞は一見に如かず、ですね。
ユニクロの柳井さんも仰られていますが、日本はグローバル競争から遅れている様に感じます。
語学力も含めて、次世代の人達はもっと世界を学ばないといけないと思いました。
寒さも日に日に増してきました。お体もご自愛くださいませ。　　赤間

500万円のホールインワン.mp4

〇　多分開けないかも知れません。**先日の「女子プロ伊藤園レディス」で勝みなみちゃんの世紀の？ホールインワンシーンです。**

〇以下は《LINE の八期サイト》からです。

玉龍八期会 (28)
う賞金500万円を獲得し、「とりあえ
ようと思ってます」。鹿児島から観戦
た祖父が「それで飲むぞ!」と盛り上
龍作🍒おめでとう祝🎉
ホールインワン！『ドク
ター❌』わたし失敗しな
いので!のメロン🍈おじさ
んと龍作おじさんがダブ
りますね。跳び跳ねてた
んじゃないかな？わたし
達もせめて『伊藤園のお
茶』でも欲しくない⁉
ありがとう少し上向いて
いるみたいな感じです、
今年もあと2回でトーナメ
ンも終わります、一年
間、応援ありがとうござ
いました、有終の美を飾
れるように頑張ります、
みんなありがとう。

玉龍八期会 (28)
ホールインワン賞金は年
間賞金には加算されない
のかな、⁉それにして
も、おめでとう祝ございま
す。
伊藤園レディース、鈴木
愛の三連勝と賞金王の画
面ばかり、みなみ何処だ
と探していたら17番にお
目見え、いかにも簡単に
ホ-ルインワン、
動画の。動画も上手く撮
れてました、まさかわか
って待ち受けていた分け
ではないでしょうに🎶
昨日
ビデオの再生の際、17番
ホールのティショットを
スマスで狙っていまし
た。動画作成アプリで編
集して完成。
スマホの間違い。

0万円 おめでとう祝
オバちゃんたち グランド
ゴルフ⛳は ホールイン
ワンになったら ぎやくに
５０円払います。この
差⁉
和枝さん、スポンサーが
いないから、持ち出し賞
金になるんだね🐖
😅、、、🐎🦀
後二試合 頑張って‼
藤田さんなつてください
ませんか❓
総会の時の 飲み会 の 軍
資金 代になるみたいで〜
す
龍作さんにお願いして
【みなみプログランドゴ
ルフシップ盃】をお願い
してみたら！